

広報

よもぎた

内容

- ひとこと・村長から……………2
- 民生課・総務課から……………3
- 蓬田小学校運動会……………4
- 蓬田中学校運動会……………5
- 総務課から……………6
- 談話室・行事予定……………7
- けっぱる蓬田人・戸籍の窓口……………8

No.178



位置について・用意・どん!

7月
1989

ほうたるほうたる
なんでもないよ
山頭火
夏が来れば思い出す…は、
ある歌の一節である。
皆さんは、何に夏をイメー
ジされるでしょうか。
泳ぎ、ゆかた、すだれ、蚊、
蛾、セミ、ひまわり、行水、
花火、蛍……。
人によって、連想するもの
は様々でありましょう。
とにかく、暑いのが夏。
暑くあるべき時は暑く、寒
くあるべき時は寒に限る。
さて、この夏は暑くなるの
だろうか。
去る六月十一日に、蓬田幼
稚園の運動会が開催された。
晴天の暖かい日曜日に親子
が集い、元気な「蓬田っ子」
は走りまわった
「よいい」の声にあちこち
を向いてはいるが、号砲にと
もにゴールを目指して懸命に
走る。赤勝で、白勝で、どっ
ちも勝て。結果は？

「さなぶり」を実施

あわせてゲートボール場テニスコート開きを祝う

中沢部落

中沢部落(吉田清光部落長)は、六月八日から三日間「さなぶり」を実施しました。

「さなぶり」とは、田植え後の村休みのことですが、今はこの単語の存在を知らない若い人達が多いでしょう。

中沢では毎年、部落全部の田植え作業が終わった後、さなぶりを実施して来ました。

今年も、ゲートボール場とテニス・コートが完成する予定だったため、日程を少し延期しての実施となりました。

さなぶり最終日の十日には、これらコートの完成記念式典が催され、関係者が参加してテープカット、経過報告、ゲ

ートボールによる始球式が行われました。

さなぶり太鼓を披露



式典では、中沢祝太鼓の披露と、さなぶり太鼓の伝授など、伝統芸能の継承も行われました。

余興には、のど自慢の方によるカラオケやかくし芸が披露されるなど会場は終始なごやかな雰囲気、婦人による手作りの料理も出され、老若男女楽しい「さなぶり」の一日を過ごしました。

ひとこと・村長から

平成元年度政府関連補助事業のお知らせ(蓬田村分)

蓬田漁港継続改良(八千万円)、瀬田地漁港(四千万円)、瀬田地排水対策特別事業(三千五百万円)、広瀬団体営かん排事業(八百五十万円)、郷沢ほ場整備(五千二百万円)、長科一般農道(千三百万円)、阿弥陀川団体営農道(六千六百万円)、蓬田汐越特改(千二百万円)、瀬田地農免農道(六千八百万円)、阿弥陀川

老朽ため池改良(二千六十九万円)、公社畜産基地建設(七千九百万円)、長科・阿弥陀川裏通り交通安全自転車歩行者道(三千二百万円)、広瀬川河川改良(五千四百万円)、板木沢準用河川改修(二千四百万円)、阿弥陀川下線道路改良(二千万円)となっています。

住民の要望は多種多様です

田植え状況を視察

村長・関係者が激励

五月十六日(火)、八戸村長、工藤蓬田農協組合長ほか、農業関係者が、中沢から蓬田までの田植え状況を視察し、農家の方々に激励しました。

春から晴天に恵まれて、農作業も順調に進み、農家の人達も今年こそは豊作になってほしいと期待は大きくなっています。

大豊作になることを心からお祈り申し上げます。



村民体育祭は **7月30日(日)**

今年は村制施行 100周年に関する種目が多数あります!

雨天の場合は 8月6日に開催します。

愛の献血 ご協力ありがとう

6月9日実施

中	沢	坂本	久男	坂本	亮	坂本	重雄
〃	〃	三上	昭男	三上	厚子	坂本	ミヤ
〃	〃	川嶋	善光	工藤	一久	吉田	清敏
長	科	相馬	治子	坂本	万歳	藤本	真
〃	〃	古川	正隆	工藤	幸司	松本	淳司
〃	〃	工藤	美智子	小藤	重一	坂本	真知
阿弥	陀川	小鹿	義晃	八戸	季子	青木	清光
〃	〃	青木	敬	青木	実	青木	みつ子
〃	〃	森	正象	八戸	茂武	青木	みづ子
蓬	田	坂本	大孚	工藤	三男	武井	昭夫
〃	〃	津島	永き	津島	俊則	津島	博文
〃	〃	小松	良一	中村	大里	小松	生佳
〃	〃	吉崎	新吉	武井	美雄	〃	〃
〃	〃	村上	まり	太田	信雄	〃	〃
宮	本	木村	克雄	森	宮子	小野	英雄
郷	沢	福井	幸正	〃	〃	〃	〃
〃	〃	木村	先雄	田中	武	越田	守
〃	〃	山館	輝久	坂本	登	久慈	正明
〃	〃	川崎	幸治	佐井	勝治	佐井	浩行
〃	〃	木浪	淳子	大川	誠治	久慈	修一
〃	〃	久慈	ルミ子	〃	〃	〃	〃
高	根	八幡	春夫	稲葉	貢	〃	〃
村	外	猪股	智栄子	安田	晃	坂本	勲
〃	〃	算用	子秀子	青木	昭信	武田	久幾
〃	〃	白石	千恵子	永田	逸子	坂本	勝教

赤十字思想普及ミニ知識

日本赤十字社のおこり

シリーズ③

明治十年（一八七七年）の西南の役では、新しい武器による攻防激しく、多くの傷病兵が戦野に倒れました。

この時、元老院議官の佐野常民と大給恒の二人は、ヨーロッパで行われている赤十字のような救護団体の設立を思い立ち、これを「博愛社」と名付け、政府に対してその設立を願いました。しかし、「敵味方の差別なく救護する」という思想が政府には理解されず、願いは認められませんでした。博愛社の設立を急いだ佐野たちは、征討総督有栖

川宮熾仁親王に直接、博愛社設立の趣意書を差し出すことに意を決し、願いました。

征討総督の宮は、英断をもって博愛社の活動を許可され、博愛社は設立をみたのです。そして十年後の明治二十年五月二十日に（この年は日本赤十字社青森県支部の前身である青森県支部が県庁内に設置された年です）。博愛社は、社名を日本赤十字社と改め、同年九月二日には、赤十字国際委員会への承認を得て、国際赤十字の一員に加わったのです。

（次回は「生きている赤十字旗…三上剛太郎物語」です。）

国民年金は

六十五歳まで任意加入できます

国民年金の加入は、年齢的に、二十歳から六十歳になるまでの間となっており、六十歳以上の人については除かれています。六十五歳になるまでの間、国民年金に任意で加入することができます。

これは、六十歳になっても老齢基礎年金を受けるのに必要な加入期間（二十五年）を満たしていない人や保険料の未納期間があり満額の年金を受けられないため、期間が足りない人のために、任意加入して、年金の受給に結びつけたり、満額の年金を受けようにするためのものです。

「期間が足りない」「額が足りない」と、お悩みの方は、ぜひこの《任意加入制度》をご利用ください。

平成元年度市町村別 交通事故防止コンクール

（期間 平成元年7月1日～12月31日）

交通安全は
あなたが
主役!

主催 青森県・青森県警察本部・青森県交通対策協議会
青森県交通安全協会・あすを拓くあすなろ県民運動推進協議会



テーマ
『力を合わせて』

蓬田小学校運動会

4・29 くもり



テーマ

『うみだそう真の友情を』

蓬田中学校運動会

5・4 はれ



仙台法務局長表彰

小猿委員が認められる



小猿粕雄さん

つとめてこられた小猿粕雄さん(郷沢)が、その功績を認められ、このたび仙台法務局長表彰を受けました。

昭和五十八年から、人権擁護委員として村民の基本的人権を擁護し人権思想の普及に

人権擁護委員制度を

ご存じですか

六月一日は、人権擁護委員法が施行された日です。

日本が戦後新しく生まれ変わったとき、何よりもまず国民の基本的人権の擁護と人権思想の普及高揚が強く求められ、基本的人権の尊重を基調とした日本国憲法が制定されました。

このような背景の下に、昭和二十三年にまず政令に基づいて、人権擁護委員制度が設けられ、翌年二十四年六月一日に人権擁護委員法が施行され、国民の基本的人権を擁護

つとめてこられた小猿粕雄さん(郷沢)が、その功績を認められ、このたび仙台法務局長表彰を受けました。

援与式は、去る五月十日にアスパム(青森市)で開催された青森人権擁護委員協議会総会の席上で行われ、高辻青森地方法務局長から表彰状が伝達されました。

ご存じですか

見し守る、いわば民間人による人権の番人の機関が誕生したのです。

これが人権擁護委員制度の始まりです。人権は、人間が平和に生きて行く上で、最も大切な権利です。

自分だけでなく、あなたも私もみんな人権が尊重されなければなりません。つまり人権は共存するものなのです。お互いに人権を守って明るい社会をつくるのが、私たちの願いです。



暮らしと電気安全

落雷に注意

夏本番になりますと、稲光や雷鳴を響かせてカミナリがやって来ます。昔から雷の多い年は、豊作になるといわれて雷電神社や天神社を建て、雷の来ることを古人はお祈りしたそうです。

ところで、落雷による被害で最もこわいのは人の死傷事故と火災の発生です。

わが国では昭和四十二年八月一日に西穂高連峰を登山中の長野県松本市深志高校二年生四十一名に落雷し、十一名死亡十三名重軽傷の重大災害が出ています。

これから登山、海水浴、ゴルフなど野外の活動が活発となるシーズンです。雷が鳴り出したら、いちはやく安全な場所へ避難するなどして、楽しい夏を過ごしましょう。

サービス業基本調査に

ご協力を!

総務庁では、七月一日現在でサービス業基本調査を実施します。

近年、経済のサービス化進展により、我が国のサービス産業の重要性がますます高まっています。

この調査は、統計法に基づく指定統計調査として行うもので、今回が第一回目の調査であり、サービス業事業所の従業者数、事業収入金額などの項目について、調査票に記入していただくものです。

調査票は、統計上の目的だけに用いられ、課税などの他の目的に用いられることはありません。

調査は、事業所統計調査(変動状況に関する調査)と同時に進められます。

六月下旬から調査員が事業所を訪問して調査票の記入をお願いいたしますので、調査にご協力をお願いします。

政治部一豊から札幌市 札幌公電





JRをよろしく

今回は、今年二月から蓬田
駅長として頑張っている小野
達雄さん(深浦町出身)を取
材しました。
小野さんは、JR(旧国鉄)

に入って二十五年目の若い駅
長です。

JRの仕事は転勤がつきも
の。行く先も方々。その期間
も様々。

長い所では六年半、短い所
ではわずか七ヶ月の勤務地が



No.77
がんばる
小野 達雄さん
蓬田駅長

ありました。

赴任地も青森野内駅を振り
出しに、八戸線鮫駅、青森駅
改札、岩手山田線募目(ひき
め)駅、岩手花巻駅、新幹線
新花巻駅、岩手大船渡線上鹿
折駅、青森駅改札担当助役と
歩いて来ました。

そんな中では、思わぬ事態
に会ったりするものです。

昭和五十三年に花巻駅に勤
務していた時、宮城沖地震が
あり、八百人のお客さんを乗
せた特急電車が地震のため運
行できず、急遽(きゅうきょ)
近くのホテルに収容するとい
う経験もしました。

さて、この小野駅長、実は
三十九歳の若さで駅長試験に
見事合格した英才です。

しかし「駅長としての勤務
は蓬田駅が初めてですが、常
にお客様へのサービスを忘れ
ないように心がけています」
と、低姿勢。

でも「蓬田村さんも今年百
周年を迎えるそうですが、こ
の機会にJR電車を借り切っ
て、村民の方々をご招待して
はいかが」と、自社企画の売
り込みには積極的で、PRを
忘れません。

高三・中二の二人の娘の親
である若き蓬田駅長、小野達
雄さんは今日も頑張る。

○7月行事予定

日	行	事	担当
7	校内写生大会		蓬田小学校
7	七夕集会		蓬田小学校
11	参観日		蓬田中学校
16	父親参観日		蓬田小学校
18	胃がん・大腸がん検診(中沢公民館)		蓬田中学校
19	胃がん・大腸がん検診(阿弥陀川公民館)		蓬田中学校
20	胃がん・大腸がん検診(中央公民館)		蓬田中学校
20	校内弁論大会		蓬田中学校
21	胃がん・大腸がん検診(老人憩い家)		蓬田中学校
22	胃がん・大腸がん検診(広瀬公民館)		蓬田中学校
22	夏季休業(八月二十三日まで)		蓬田小・中学校
30	村民体育祭(村総合運動場)		蓬田小・中学校



昔はどこにでもいたという、トゲウオ科(トミヨ)を見つめました。
トゲウオ科には、日本にイトヨ属とトミヨ属で計7種の魚がいる
そうで、背鰭(せびれ)が3本で、
やや大きめなのがイトヨで、背鰭
が9~10本でやや小さめなのがト
ミヨだそうです。
このトミヨ、湧き水のある小川
などに生息し、稚魚は浮遊動物など
を食べて育ち、成魚は水生昆虫、
小形甲殻類などを食べるという
雄が水草の切れ端などに直径
3~4cmの球形の巣をつくり、
受精卵と稚魚を保護します。

み
つ
け
た
17

けっばる蓬田人 ⑩

けっばる蓬田人

小鹿物産(株) 千食八王子(株)
社長 小鹿勝男 さん



食肉販売店での店員が最初の仕事でした。

八年を経て、二十四歳で独立、小鹿物産(株)を興しました。食肉関係全般の仕事です。

設立当時は、会社とは名ばかりで、長女の貴子を背中に全てをこなす毎日、背に娘のぬくもりと、遠く蓬田の田園風景を力の源として仕事一途の暮らしていましたが、健康が私と家族をしつかりと支えてくれて、働く事が出来、今は沢山の楽しい思い出となって

います。家族も娘三人が生まれて五人となりました。そうした中で、新しい生活基盤となっている私の住む大楽寺町の居住環境向上の為に、地域住民の利便を計るため、行政関係への働きかけを行い、昭和四十八年個人排水事業組合を設立しました。

発足時、十六世帯でしたが、現在は六十数世帯にふえ時の流れと組合長としての責任を改めて実感させられています。五十六年、八王子市青森県

人会を設立、教職退職者を主として活動しています。

故郷(ふるさと)とのパイプ役として少しでもお力にな

れれば幸せです。

蓬田には、両親も健在で信頼出来る兄、兄嫁がいて田舎に遊びに帰るのが楽しみです。一年の半分を厳しい風雪の中で生活するという風土に培われた「けっばる」の精神を私も強く銘肝し、これを受け継ぎこれからも質実、謙虚に生を歩み続けるつもりです。

蓬田の皆様どうぞよろしく。



教えを頂いた小山内、久野両先生と友の顔を心の底にきざみ込み、希望と夢に胸を膨らませての十六歳、人生の門出でした。

現在、四十九歳、東京八王子市で元気で働いています。

戸籍の窓



人口と世帯数
(5月31日現在)

総人口 4,217人
男 2,034人
女 2,183人
世帯数 1,044世帯

5月受付分

お誕生おめでとうございます

益子 拓也	(浩光 二子)	長男
松本駿太郎	(武登美 秋子)	長男
越田 結衣	(正里 一番)	長女
古川 直美	(朗啓 子)	長女

ご結婚おめでとうございます

(坂本行生 中沢 浅利 ゆみ子 鶴田町)

おくやみ申し上げます

久慈 さわ(瀬辺地 83歳)
佐井 たみ(高根 78歳)
森 サタ(阿弥陀川 75歳)

めも

▶現住所/東京都八王子市大楽寺町309-3 ☎0426-22-9025▶生年月日/昭和14年12月17日▶出身/長科▶家族構成/妻(貴女子)・長女(貴子)・次女(和子)・三女(綾子)▶好きなもの/読書(歴史)・ハイキング・旅行▶経歴/小鹿物産(株)社長(昭和40年)~現在・大楽寺地域個人排水事業組合組合長(昭和48年)~現在・千食八王子(株)社長(昭和56年)~現在・八王子青森県人会副会長(昭和58年)~現在▶紹介者/青木貴さん(阿弥陀川)